

五十五万石

近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3

TEL.426-3600 FAX.424-1474

<https://kinzei-wakayama.org>



アイヌ語で「カムイトー」、神の湖と呼ばれる摩周湖

バイカル湖につぐ世界で2番目に透明度の高い湖で、よく晴れた日の湖面の色は「摩周ブルー」と呼ばれている。

目次

ごあいさつ.....	2	和税会ゴルフニュース.....	6
着任の御挨拶.....	2	役員紹介.....	7
新任署長・副署長へのインタビュー.....	3	支部行事風景.....	7
新入会員へのインタビュー.....	4	新入会員等紹介.....	8

ごあいさつ

和歌山支部長

坂本 忠進



初秋を迎え、支部会員の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素から支部運営に深いご理解と多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、去る5月12日の第43回支部定期総会におきまして支部長に選任されました。役員会のメンバーは、経験豊富な副支部長が5名と半数以上が初就任となる幹事が16名、それから監事が2名という体制で会務運営を行ってまいります。2年間どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、我々税理士業界におきましても、ICT化、DX化の流れは目覚ましい勢いで進んでおり、令和4年税理士法改正において、税理士の業務のICT化推進の明確化として、税理士法第2条の3が新設されました。①納税者（依頼者）対応のデジタル化の推進として、資料授受の非書面化、税務相談等の非対面化による業務の迅速化・効率化、②行政対応のデジタル化の推進として電子申告・納税の推進など行政手続、調査対応等のペーパーレス化による迅速化・効率化、③業務環境のデジタル化の推進としてウェブ・クラウド・イントラネット等を活用したテレワークなどの働き方の多様化への対応が求められています。10月に始まるインボイス制度、年明け1月からは改正電子帳簿保存法の猶予期間が経過し義務化となります。まずはこれらの対応が急務となってまいりますので、ご対応方よろしくお願ひ申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、この3年間は会務運営が制約され続けてきましたが、今年度からは会場参加型の研修会も再開し、支部の親睦旅行は久しぶりに1泊での開催を予定しております。ICT化、DX化の流れの中ではありますが、支部会員がお互い膝と膝を突き合わせての行事も大いに意義があると考えておりますので、皆様方の積極的なご参加をお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、支部会員の皆様方のご健勝とご事業のご繁栄を祈念いたしまして、就任のご挨拶と会務のご報告とさせていただきます。

着任の御挨拶

和歌山税務署長

大西 孝幸



初秋の候、近畿税理士会和歌山支部の皆様方におかれましてはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

坂本支部長をはじめ貴支部の皆様方には、平素から税務行政全般にわたりまして、深い御理解と多大なる御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の人事異動により、和歌山税務署長を拝命いたしました大西でございます。

近年、経済社会のデジタル化が急速に進展する中で、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という国税庁の使命を変わずに果たしていくため、国税庁では、令和3年6月に「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション～税務行政の将来像2.0～」に取り組んでいく方針を明確にしました。令和5年6月には、将来像2.0を改定し、従前の「納税者の利便性の向上」、「課税・徴収の効率化・高度化等」に、新たに「事業者のデジタル化促進」を加えた3つの柱に基づいて、税務行政のデジタル・トランスフォーメーションを更に前に進めていくことを示しました。

このような状況下において、和歌山税務署は、令和5年7月からセンター化の対象署となり窓口を縮小しており、令和8事務年度の全署センター化を見据え、「自宅等からのe-Tax利用」、「キャッシュレス納付」及び「納税証明書オンライン請求」をより一層推進し、あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる、国民にとって利便性が高い社会の実現に貢献していきたいと考えています。

また、まもなく令和5年10月から導入される消費税の「インボイス制度」については、税理士会の皆様方の御協力のもと、登録件数は順調に増加しています。ただし、制度自体を認知していない方もまだまだ多いと考えられますので、周知広報の取組を加速しつつ、登録を予定している事業者の方に対しては、早期の登録申請を促していきたいと考えておりますので、引き続き、御協力の程よろしくお願ひいたします。

新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類感染症」になったとはいえ、まだまだ油断できない状況ではありますが、これまでに築き上げられてきた貴支部の皆様との関係を後退させることなく、良好な連携・協調関係を維持させていただき、皆様方のお力添えをいただきながら、税務行政全般の円滑な運営に努めてまいりたいと考えておりますので、これまで同様の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、近畿税理士会和歌山支部のますますの御発展と会員の先生方の御健勝と御事業の御繁栄を心から祈念いたしまして、着任の御挨拶とさせていただきます。

新任署長
副署長への
インタビュー

- ①ご出身地、子供の頃の思い出 ②入署のきっかけ ③今までの仕事で印象に残ったこと
④和歌山についての印象 ⑤最後に一言

和歌山税務署 署長

大西 孝幸 (前任：大阪国税局査察部 資料情報課長)

- ①私の出身は、兵庫県加西市です。子供の頃は、早朝から近くの山へカブトムシやクワガタを捕まえに行ったり、親父のバイク（50cc）に乗せてもらい、川や池に魚釣りにもよく行っていました。
- ②高校3年生の時、担任の先生から、「国家公務員の税務試験を受けてみないか。」と勧められ、当時、税には全く興味がなかったのですが、なぜか受験したのがきっかけです。
- ③大阪国税局の資料調査課で13年間調査をさせていただき、多くの納税者の方と接する機会があり、思い出せば全ての事案において様々な思い出がありますが、特に資料調査課配属1年目、先輩から「これを明日までにやってこい」「なんでこれが分からんのか」等の愛のムチを受けながら、がむしゃらに走り続けた1年間。自分で言うのもなんですが、今までで一番仕事をした1年間が印象に残っています。
- ④和歌山と聞くと、さとふる返礼品で、「あら川の桃」「有田のみかん」を今でも毎年お世話になっております。本当に今まで縁がなかった和歌山ですが、これから1年、单身生活ではありますが、和歌山を満喫したいと思っています。
- ⑤近畿税理士会和歌山支部の先生方には、平素から税務行政全般にわたり御理解と御協力を賜り、大変ありがとうございます。
今事務年度におきましても、昨年に引き続き、御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。



和歌山税務署 副署長

宮田 周 (前任：和歌山署 総務課長)

- ①出身は大阪府富田林市です。子供の頃は、祖父の影響を受け、阪神タイガースのファンで機会あるごとに甲子園で応援しておりました。当時は、優勝を知らずに育った子供で、中学生の時に日本一になった時は、学校の中でクラスメイトとともに応援していました。ちなみに今も阪神ファンです。
- ②元々学生の時に会計学を専攻してしまっていて、試験科目に含まれている職場であったため、受験しました。当時は、公務員に対するイメージとしてのんびりしたものを持っておりましたが、入署してみるとピリピリした空気を感じ、必死に働こうと思いました。
- ③今までで一番印象に残っておりますのは、昨事務年度総務課長として、和歌山署で勤務させていただき、先生方の前で研修させていただいたことです。緊張いたしました。このほかでは、国税庁に6年間出向し、システム管理部署で様々なシステムの導入に携わったことです。当時は最先端技術を見て、どのように組織で活かせるかを考えました。無事に運用できた時は感無量でした。
- ④昨事務年度から和歌山署で勤務させていただいており、皆様方の温かさを実感しているところです。また、私自身が岩出市在住ですので、今年も近い和歌山で勤務できることを喜んでおります。
- ⑤近畿税理士会和歌山支部の先生方には、税務行政全般にわたり御理解と御協力を賜っておりますこと、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。本事務年度におきましても、昨事務年度同様に御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。


 新入会員への
インタビュー

- ①自己紹介・出身地・趣味 ②税理士を目指したきっかけ
③これまでの仕事で印象に残っている事・今後の抱負 ④最後に一言

城塚 信道

- ①はじめまして。このたび、近畿税理士会和歌山支部に入会いたしました税理士法人風神会計事務所の城塚信道と申します。大阪府泉佐野市出身で、現在も泉佐野市に暮らしています。趣味といえるかわかりませんが、継続的におこなっているのは、ウォーキングです。体調管理の必要性を感じ始めたのですが、いざ始めてみると、心身のリフレッシュにつながると同時に、今まで知らなかったお店などを発見できるという面白さもあり、今後も継続していきたいと考えています。
- ②大学で会計、簿記を学び、興味をもったことが大きいです。自分に向いていると感じ、学んだことを一生、活かせる仕事につきたいと考えた時に、税理士資格を意識するようになりました。また、科目合格制が採用されており、努力が着実に資格取得に結びつくのではと考えた点も大きかったです。
- ③担当している関与先様に、私が税理士資格取得をめざしていることを話すと、「絶対なれるよ」と応援してくださったことです。時間はかかりましたが、実際に、税理士登録完了したことを伝えると、自分のことのように喜んでいただけたのが印象に残っています。
- ④和歌山で勤務するようになってから、二十年近くになります。出身は大阪府ですが、和歌山県も現在の私を育ててくれたところでもあります。微力ではありますが、和歌山県が元気になれるように、先生方にご指導いただきながら、精一杯頑張っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

金ヶ江 幸一

- ①はじめまして。この度、近畿税理士会和歌山支部に入会しました税理士法人しんせいの金ヶ江幸一と申します。これまで、個人事務所として大阪市西区で開業しておりましたが、今年の2月に税理士法人化することにより、和歌山支部でお世話になることとなりました。よろしくお願い致します。出身は、大阪府茨木市の出身です。趣味は、これと言えそうなものはないのですが、沖縄の石垣島の顧問先でスキューバダイビングをさせて頂く機会があり、その光景に少しずつはまりそうな気がしております。
- ②税理士を目指したきっかけは、大学時代の簿記との出会いでした。もともと経営学にも興味があったのですが、企業の経済活動を複式簿記により言語変換していく面白さに出会い、自然と当時の学友の影響も受け、税理士を目指すこととなりました。
- ③26歳からこの業界でお世話になり、20年以上経ちますが、まだまだ業界では分からないことだらけで、この業界の奥深さを痛感させられる毎日です。今後は、これまでの経験を活かし、目まぐるしい時代の変化に適応し、顧問先の繁栄に繋がるような仕事ができるよう精進してまいります。
- ④最後に、この度様々なご縁で和歌山支部にお世話になることとなりました。せっかくのご縁ですので、和歌山の顧問先はもとより、地域の納税者や経済の発展に少しでも寄与させて頂けるよう頑張ります。

太田陽介

- ①はじめまして、近畿税理士会和歌山支部に入会いたしました税理士法人小谷総合会計の太田陽介と申します。
和歌山市内で生まれ育ち、大学も大阪まで自宅から通学していたため生活のほぼすべてを和歌山で過ごしてまいりました。
現在の趣味は運動不足解消のために始めた散歩です。
最初は1駅分を往復する程度でしたが、最近は車や電車で遠出しその場所の風景を楽しむようになりました。
- ②大学では経済学を専攻しており簿記に興味を持ったことがきっかけでした。
在学中に独学で日商簿記3級、続いて2級を取得することができましたが、1級は数度チャレンジしても取得することができず悔しい思いをしました。
大学卒業後、「いままで勉強してきたものを無駄にしたいくはない」との思いから税理士を目指すようになりました。
- ③相続業務を通じて得るものが多くありました。
はじめての相続に不安を抱く相続人から懸念事項を、時間をかけてヒアリングしたことにより信頼関係を築くことができました。
信頼関係によってこちらの助言に耳を傾けてくれたこと、感謝の言葉をいただいたことが印象に残っています。
今後お客様とのコミュニケーションを大切に「依頼してよかった」と思われるような税理士になっていければ、と思っています。
- ④税理士として精進を続けるとともに、和歌山支部の発展に貢献できるように努めてまいりたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。



中曾祥司

- ①いつもお世話になります、中曾祥司と申します。
令和4年12月末に30年余り勤務した税務署を早期退職し、令和5年3月税理士登録を済ませ、近畿税理士会和歌山支部に入会しました。出身は和歌山市で現在は紀の川市在住です。
趣味はバイクで涼しい時期にはフェリーなどを使って、全国を巡っていますが、今年は開業後ということもあり遠出はかなっていない状況です。
- ②税理士を目指したきっかけは、簿記の専門学校に通ったことがきっかけです。
専門学校を卒業後、民間企業に2年間勤務した後、会計事務所を経て、国税専門官として国税局に採用されました。千葉西税務署をはじめ、大阪府及び和歌山県内の各税務署に勤務し、今回縁あって現在の事務所を開業するに至りました。
- ③今後の抱負としては、税理士として顧問先のニーズに合った最善の判断を行うことはもちろんのこと、今まで国税（公務員）としてお世話になった分、世の中に少しでも貢献できればと、未来ある子供たちのためのボランティア活動にも参加を考えているところです。
- ④最後に一言、人生百年時代と言われる昨今、まだまだ私も折り返し地点を少し過ぎたところです、新しく税理士という職業に就けたことに感謝し、今後も日々自己研さんに励みたいと思っています。



丹 一 成

①皆様、初めまして。この度、開業にあたり、近畿税理士会和歌山支部に転入致しました丹一成と申します。和歌山市西庄出身の31歳です。(智辯和歌山高校→岐阜大学応用生物科学部→和歌山大学大学院経済学研究科)

大学卒業後は、警察官、和歌山の会計事務所、東京の税理士法人を経て、本年6月に開業致しました。趣味は、高校から続けている筋トレ、ペットの世話です。

②税理士を目指したきっかけは、学生時代から得意だった計算することを活かして人の役に立ちたいと思ったからです。

③税理士としての仕事をする中で、上司から「経験がたくさんあってもなくても、お客様から見たら税務のプロであることには変わらない」と言われ、プロとして恥じない仕事をして行きたいと思いました。

今後は、数字を通して、人を幸せにできるように精進していきたいと思っております。

④私は、まだまだ未熟ですが、熱い気持ちを持って、頑張って参りたいと思いますので、宜しくお願い致します。



和税会ゴルフニュース



2023年
7月8日(土)

場 所 紀の国カントリー倶楽部
参加者 19名



入賞者

優勝

西川 悦史
ネット 70.2

準優勝

中村 文昭
ネット 72.4

3位

鵜島 信二
ネット 73.2

次回開催予定

次回幹事

西川 悦史
森脇 大介

第17回 和税会ゴルフコンペは、2023年10月28日(土) 海南高原カントリークラブで開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。
和税会会長 田中 佳則



役員紹介



支部監事
勝丸 勇夫



支部長
坂本 忠進



支部監事
峯尾 雄二



総務委員会

小川 千佳・上野 隆也・沼崎 健一
(副支部長)



業務対策委員会

中山 朋哉・額田 朋子・藤原 光男・西川 悦史・川村 尚史
(副支部長)



広報・租税教育推進・綱紀監察委員会

松本 哲也・水城 斉美・笹 博則・水野 智之
(副支部長)



厚生委員会

山田 賢・西川 明伸・辻 和宏・内藤 泰道
(副支部長)



税務支援対策委員会

玉置 康仁・鶴島 幸夫・小山 琢志・田村 朋也・和田 全史
(副支部長)

支部 行事風景



第43回 定期総会 令和5年5月12日(金) ダイワロイネットホテル和歌山



拡大支部懇談会 令和5年8月2日(水) ダイワロイネットホテル和歌山



令和5年度
近税G保険加入者懇談会
令和5年6月5日(月)

新入会員等紹介 (敬称略)

入会



ミヤモト トオル
宮本 亘
令和4年11月21日
和歌山市八番丁11番地
日本生命和歌山八番丁ビル8階
宮本富雄税理士事務所



ジョウノツカ ノブミチ
城塚 信道
令和5年1月26日
和歌山市黒田1丁目1番19号
阪和第一ビル6階
税理士法人風神会計事務所



オオダ ヨウスケ
太田 陽介
令和5年2月21日
和歌山市西旅籠町4番地
第2垂井ビル2F
税理士法人小谷総合会計



ナカソン ショウジ
中曾 祥司
令和5年3月22日
和歌山市湊通丁北4丁目37番地

税理士法人しんせい 和歌山事務所

令和5年2月17日
和歌山市板屋町22番地 和歌山中央通りビル2F

転入



カネ ガエコ コウイチ
金ヶ江 幸一
(西支部より)
令和5年2月18日
和歌山市板屋町22番地
和歌山中央通りビル2F
税理士法人しんせい 和歌山事務所



タン イッセイ
丹 一成
(東京会より)
令和5年6月1日
和歌山市西庄444番地15

退会

竹中 三壽 (死亡) 宮崎 安一 (業務廃止) 山中 静 (死亡)
令和4年11月21日 令和4年11月30日 令和4年12月29日
藤原 康平 (業務廃止) 西之坊 幸宏 (死亡)
令和5年4月12日 令和5年7月25日

転出

楠本 久起 (粉河支部へ)
令和5年4月6日
長谷川 正則 (北陸会へ)
令和5年6月19日

会 員 数

令和5年8月15日現在 255名(社)

編集後記

五十五万石第 56 号の発行にあたり、多数の会員の皆様よりご投稿いただき、心より感謝申し上げます。

暑い夏が続いております。会員の皆様どうかお体ご自愛下さいませ。

さて、今回は新しい人事に関する情報が満載でした。人が異動し、また、新たな人が加わることで組織が一新され、活性化します。人も、時代も、絶えず、無常の流れの中にあるようです。あれだけ長く続いたコロナ禍も、ようやく5類とされひとまず終わりを迎えました。あとはウクライナの戦争もいつか終わりを迎えることを願いたいものです。

日経平均株価は、多少の変動はあるもののバブル後の最高値を付け、日本経済復興への期待が寄せられています。日本人の素晴らしいポテンシ

ヤ(可能性)を再び私たちは感じられるかもしれません。すでに、スポーツの世界では、歴史上NO.1といわれる野球選手が日本から生まれました。大谷選手の鬼神のごとき大活躍とホームランの時にかぶる兜は、私たちの大和魂をふるわせるのに十分すぎます。そして、あまり目立ちませんが、男子バレーボールの世界でも、46年ぶりに世界で銅メダルを獲得するなど、目覚ましい躍進を遂げています。バブルがはじけ、デフレが続き、少しの間、自信を喪失していた日本人の再躍進の時機が近づいてきているようです。

マイナンバー、電子帳簿保存、DX、そしてインボイスと、改革の波は続いていきますが、時代の変化にしっかり乗って、そして、それに乗じて、私たちも飛躍していきたいものです。

広報委員会 水城・松本